



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 クラリオン株式会社
 コード番号 6796 URL <http://www.clarion.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長兼COO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川本英利
 (氏名) 新保邦彦

TEL 048-601-3700

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	161,805	12.1	8,274	76.3	7,494	104.8	5,635	114.2	4,912	△35.0
27年3月期第3四半期	144,382	—	4,693	—	3,659	—	2,631	—	7,551	—

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	19.99	—
27年3月期第3四半期	9.33	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	138,501	39,342	39,182	28.3
27年3月期	129,498	34,994	34,823	26.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	2.00	2.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	220,000	10.8	11,000	48.9	10,000	63.1	7,000	43.6	24.83	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) - 、 除外 一社 (社名) -
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	282,744,185 株	27年3月期	282,744,185 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	879,361 株	27年3月期	858,733 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	281,876,807 株	27年3月期3Q	281,902,323 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 配当予想の修正	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	3
3. 要約四半期連結財務諸表	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 継続企業の前提に関する注記	9
(6) セグメント情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出企業を中心に業績改善が続きましたが、個人消費や設備投資は力強さを欠いており、中国経済減速の影響、為替変動等、景気の先行きは不透明感を増してきております。海外におきましては、米国では堅調な個人消費により成長が持続し、欧州もユーロ安により個人消費が緩やかな回復を続けております。中国では景気減速が鮮明になってきており、新興国でも資源価格の低迷により成長率は鈍化してきております。

当社グループの関連する自動車業界におきましては、2015年暦年の新車販売台数が日本国内では前年比9.3%減の504万台と軽自動車を中心に低迷しました。米国では好調な消費に支えられ前年比5.7%増の1,747万台と過去最高を更新、中国では前年比4.7%増の2,460万台と伸び率は低下したものの、7年連続で世界トップを保持しております。

このような市場環境のもと当社グループは、車社会での「安心・安全」をめざしたインテリジェント・セーフティ事業と「つながる」を実現するコネクティビティ事業を強化してまいります。また、グローバルでの事業運営強化や構造改革の推進により企業体質の強化を図り、売上収益・利益の更なる拡大を加速してまいります。

当第3四半期連結累計期間における連結業績の概要は次のとおりであります。

当社グループにおきましては、日本国内の自動車販売低迷による影響がありましたものの、米州、アジアにおけるOEM（相手先ブランドによる生産）市場向け売上の前年同期比増加を主要因とし、売上収益は前年同期比12.1%増収の1,618億5百万円となりました。増収による操業度改善、海外拠点から日本国内への生産移管効果、原価低減等の営業費用の改善、固定資産売却によるその他の収益の計上もあり、営業利益は前年同期比76.3%増益の82億74百万円となりました。税引前四半期利益は前年同期比104.8%増益の74億円94百万円、親会社株主に帰属する四半期利益は前年同期比114.2%増益の56億35百万円といずれも増益になりました。

セグメント別の業績概要は次のとおりであります。各セグメントの売上収益は外部顧客に対する売上収益を記載しており、各セグメントの利益は営業利益であります。

(日本)

当セグメントの売上収益は前年同期比11.4%減収の617億69百万円、営業利益は前年同期比103.0%増益の32億7百万円となりました。

国内自動車販売の低迷、市場回復の遅れにより売上が減少したものの、海外生産から国内生産への移管による効果の継続、原価低減により減収増益となりました。

(米州)

当セグメントの売上収益は前年同期比53.6%増収の688億8百万円、営業利益は前年同期比130.7%増益の21億20百万円となりました。

好調な自動車販売の状況下、本年度に立ち上がった新商権等によるOEM市場向け売上伸長、中米子会社のEMS（電子機器受託製造サービス）事業の売上も好調に推移、前年同期比での円安ドル高影響もあり、増収増益となりました。

(欧州)

当セグメントの売上収益は前年同期比14.6%減収の101億12百万円、営業利益は前年同期比39.9%減益の1億61百万円となりました。

自動車販売は好調を維持しているものの、モデル切り替えの端境期であり、OEM市場向け売上が減少したことから、減収減益となりました。

(アジア・豪州)

当セグメントの売上収益は前年同期比17.1%増収の211億14百万円、営業利益は前年同期比26.1%増益の25億50百万円となりました。

中国、タイでのOEM市場向け売上の伸長、及び前年同期比での円安影響、北米向け製品生産増による操業度改善及び固定費の削減等により、増収増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の決算に使用した損益為替レートは以下のとおりです。

		第1四半期	第2四半期	第3四半期
当期為替レート	米ドル	約121円	約122円	約122円
	ユーロ	約134円	約136円	約133円
前期(参考)	米ドル	約102円	約104円	約115円
	ユーロ	約140円	約138円	約143円

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産が1,385億1百万円であり、前連結会計年度末より90億3百万円増加いたしました。このうち、流動資産は768億89百万円であり、前連結会計年度末より96億81百万円増加いたしました。非流動資産は616億12百万円であり、前連結会計年度末より6億78百万円減少いたしました。

負債につきましては、991億59百万円であり、前連結会計年度末より46億55百万円増加いたしました。

親会社株主持分につきましては、391億82百万円であり、前連結会計年度末より43億59百万円増加いたしました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、154億68百万円(前年同期末残高は119億33百万円)となりました。

営業活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、棚卸資産の増加がありましたものの、四半期利益、減価償却費及び無形資産償却費等の計上、売上債権の減少、及び買入債務の増加により175億96百万円の収入(前年同期は131億30百万円の収入)となりました。

投資活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産及び無形資産の取得等により、86億71百万円の支出(前年同期は86億55百万円の支出)となりました。

財務活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、長期借入債務の償還等により13億36百万円の支出(前年同期は68億40百万円の支出)となりました。

資金調達の概要

2015年6月にシンジケート方式によりタームローン80億円を再組成いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

(4) 配当予想の修正

平成28年3月期の期末配当予想につきましては、業績等を考慮した上で検討するとしておりましたが、年度業績の見通しなどを勘案した結果、期末配当の予想を1株当たり3円と修正させていただきます。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想				—	—
今回修正予想				3円00銭	3円00銭

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当該事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,257	15,468
売上債権	32,519	29,100
未収入金	1,380	1,145
棚卸資産	22,489	28,184
その他の金融資産	499	805
その他の流動資産	2,061	2,184
流動資産合計	67,207	76,889
非流動資産		
有形固定資産	26,754	25,149
無形資産	26,380	27,026
持分法で会計処理されている投資	1,121	1,193
有価証券及びその他の金融資産	2,591	2,800
繰延税金資産	4,096	4,129
その他の非流動資産	1,345	1,313
非流動資産合計	62,290	61,612
資産の部合計	129,498	138,501

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	260	263
償還期長期債務	8,901	872
買入債務	24,932	31,794
未払金	10,086	7,678
その他の金融負債	251	493
未払費用	10,110	9,659
未払法人所得税	1,781	2,408
引当金	621	632
その他の流動負債	74	573
流動負債合計	57,020	54,375
非流動負債		
長期債務	27,176	34,884
その他の金融負債	1,422	1,292
退職給付に係る負債	8,131	7,914
引当金	495	460
その他の非流動負債	257	232
非流動負債合計	37,483	44,783
負債の部合計	94,504	99,159
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	20,346	20,346
利益剰余金	6,934	12,006
その他の包括利益累計額	7,681	6,976
自己株式	△139	△146
親会社株主持分合計	34,823	39,182
非支配持分		
資本の部合計	34,994	39,342
負債・資本の部合計	129,498	138,501

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
売上収益	144,382	161,805
売上原価	121,726	134,410
売上総利益	22,655	27,395
販売費及び一般管理費	18,090	19,699
その他の収益	335	1,071
その他の費用	206	493
営業利益	4,693	8,274
金融収益	127	122
金融費用	1,092	1,123
持分法による投資損益	△68	221
税引前四半期利益	3,659	7,494
法人所得税費用	1,029	1,853
四半期利益	2,630	5,640
四半期利益の帰属：		
親会社株主持分	2,631	5,635
非支配持分	△0	4
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益：		
基本	9.33円	19.99円
希薄化後	—	—

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
四半期利益	2,630	5,640
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動額	418	192
純損益に組み替えられない項目合計	418	192
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	4,407	△761
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動額	2	△0
持分法その他の包括利益	93	△158
純損益に組み替えられる可能性がある項目 合計	4,503	△920
その他の包括利益合計	4,921	△728
四半期包括利益	7,551	4,912
四半期包括利益の帰属：		
親会社株主持分	7,536	4,930
非支配持分	15	△18

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分						非支配持分	資本の部 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	26,100	2,669	△6,542	3,865	△129	25,963	165	26,129
変動額								
四半期利益			2,631			2,631	△0	2,630
その他の包括利益				4,905		4,905	15	4,921
四半期包括利益合計			2,631	4,905		7,536	15	7,551
資本金から剰余金への振替	△5,753	5,753				—		—
欠損填補		△8,421	8,421			—		—
自己株式の取得					△7	△7		△7
その他		△1	1			—		—
変動額合計	△5,753	△2,669	11,054	4,905	△7	7,528	15	7,544
期末残高	20,346	—	4,512	8,771	△137	33,492	180	33,673

当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分						非支配持分	資本の部 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	—	6,934	7,681	△139	34,823	171	34,994
変動額								
四半期利益			5,635			5,635	4	5,640
その他の包括利益				△705		△705	△23	△728
四半期包括利益合計			5,635	△705		4,930	△18	4,912
親会社株主に対する配当金			△563			△563		△563
自己株式の取得					△7	△7		△7
企業結合による変動							7	7
変動額合計	—	—	5,072	△705	△7	4,359	△11	4,347
期末残高	20,346	—	12,006	6,976	△146	39,182	159	39,342

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	2,630	5,640
四半期利益から営業活動に関するキャッシュ・ フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	7,656	8,942
法人所得税費用	1,029	1,853
持分法による投資損益	68	△221
金融収益及び金融費用	965	1,001
固定資産売却等損益	△15	△434
売上債権の増減	4,331	3,294
棚卸資産の増減	△3,499	△5,905
買入債務の増減	3,395	7,238
引当金の増減	29	18
退職給付に係る負債の増減	△189	△273
その他	△2,249	△1,971
小計	14,153	19,183
利息の受取	94	81
配当金の受取	32	43
利息の支払	△306	△270
法人所得税の支払	△843	△1,441
営業活動に関するキャッシュ・フロー	13,130	17,596
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△2,139	△2,956
無形資産の取得	△6,615	△6,833
有形固定資産の売却	36	1,113
有価証券及びその他の金融資産の取得	△159	△83
有価証券及びその他の金融資産の売却	266	14
その他	△43	73
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△8,655	△8,671
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減	△701	—
長期借入債務による調達	26,500	8,000
長期借入債務の償還	△32,631	△8,765
配当金の支払	—	△563
自己株式の取得	△7	△7
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△6,840	△1,336
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	888	△377
現金及び現金同等物の増減	△1,478	7,210
現金及び現金同等物の期首残高	13,411	8,257
現金及び現金同等物の期末残高	11,933	15,468

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2014年4月1日至2014年12月31日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	69,707	44,806	11,842	18,026	144,382	—	144,382
セグメント間の売上収益	30,714	3,976	2,667	44,806	82,163	△82,163	—
計	100,421	48,782	14,509	62,832	226,545	△82,163	144,382
セグメント利益	1,580	919	269	2,023	4,791	△97	4,693
金融収益	—	—	—	—	—	—	127
金融費用	—	—	—	—	—	—	1,092
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	△68
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	3,659

(注)セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額△97百万円は全額セグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年12月31日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	61,769	68,808	10,112	21,114	161,805	—	161,805
セグメント間の売上収益	51,877	3,621	2,807	46,106	104,412	△104,412	—
計	113,647	72,429	12,919	67,221	266,217	△104,412	161,805
セグメント利益	3,207	2,120	161	2,550	8,040	233	8,274
金融収益	—	—	—	—	—	—	122
金融費用	—	—	—	—	—	—	1,123
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	221
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	7,494

(注)セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額233百万円は全額セグメント間取引消去であります。